

# 大垣 ～2017～

## 市制100周年に向けて始動

来年市制100周年を迎えるにあたり、今年はさまざまなイベント事業などが行われました。

4月には、「水の都・大垣」の象徴である豊かな水を色や形で表現したシンボルマークを決定するとともに、各種団体で構成する市制100周年記念事業実行委員会を設立しました。

また、新たに「おおがきの歌」を制作するため、谷川俊太郎さん・賢作さん親子を招いて、子ども向けワークショップなども開催しました。

11月には、最新のロボット技術に楽しく触れることができる体験型イベント「ロボフェスおおがき2017」が開催され、市内外から多くの来場者でにぎわいました。

平成30年度の市制100周年が、未来に向かって発展する契機となるよう、多彩な記念事業を展開していきます。



昨年12月に「山・鉾・屋台行事」の一つとして、「大垣祭の軸行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたのを記念して、今年3月には、講演会や7都市が参加するサミットなどを開催しました。

## 「大垣まつり」

ユネスコ登録で盛り上がる



そして、ユネスコ登録後、初の開催となった大垣まつりが、5月13・14日に開かれ、県内外から見物客が訪れて、約29万人の人出となりました。

また、祭りに先立って、本市とともに登録された全13市が加盟する「山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク」を設立。今後、連携して祭りの魅力をPRしていくことになりました。



## 浄化センター 消化ガス発電施設が完成

浄化センターに建設を進めてきた消化ガス発電施設が完成し、6月26日から発電を開始しました。

この施設は、汚泥の消化工程で発生する消化ガス(メタンガス)から電気を生み出すもので、売電による経費節減や二酸化炭素排出量の削減につながります。なお、この燃料電池方式による消化ガス発電導入は、東海初となります。

市は今後も、環境にやさしいまちづくりを進めていきます。



## 市民病院 バックヤードツアーを開催

市民病院で初めての開催となるバックヤードツアーが、8月に行われました。これは、将来の医療人を育むことなどを目的に、中高生を対象に開催したもので、抽選で選ばれた52人が、最先端医療技術を見学し、模擬手術も体験しました。

参加者らは、普段見られない、さまざまな医療現場を巡り、熱心に話を聞いていました。

この事業が、今後も人材育成のきっかけとなることが期待されます。



## 情報工房・交流サロン リフレッシュオープン

今年7月、情報工房1階の交流サロンが、リフレッシュオープンしました。

新たに「ロボット体験コーナー」や「ものづくり・プログラミングコーナー」を設け、最新のICT機器の体験などができるほか、研修・講座と連携して、子どもから大人まで楽しみながら学ぶことができます。



**7月** ◆消防操法大会(2日) ◆総合計画審議会第1回会議(10日) ◆情報工房交流サロンリフレッシュオープン(15日) ◆すのまた天王祭(23日) ◆「みんなでつくろうおおがきの歌」ワークショップ(24日・8月30日)



**8月** ◆水都まつり(3日～) ◆水都っ子ウィーク(2日～) ◆市民病院バックヤードツアー(19日) ◆総合防災訓練(27日) ◆「大垣市子どもの誓い」子ども実行委員会(28日) ◆漫画家の大今良時さんにスイトピア章を贈呈(30日)

**9月** ◆第3回市議会定例会(4日～) ◆奥の細道むすびの地記念館入館者130万人達成記念セレモニー(9日)

**10月** ◆キッズピアおおがきフェスティバル(1日) ◆すのまた秀吉出まつり(1日) ◆市制100周年記念事業推進室の設置(1日) ◆守屋多々志美術館特別展(7日～) ◆十万石まつり(8日) ◆男女共同参画センター開所式(11日) ◆市民の健康広場(15日) ◆芭蕉蛤塚忌全国俳句大会(15日) ◆衆議院議員総選挙(22日) ◆大垣ミナモトボールクラブが日本リーグ1部昇格決定(24日)



日) ◆「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ世界記憶遺産に登録(31日)

**11月** ◆市教育功労者表彰式(1日) ◆ロボフェスおおがき2017(4・5日) ◆中山道赤坂宿まつり(5日) ◆芭蕉元禄大垣きもの園遊会(5日) ◆かがやきライフタウン大垣「秋のつどい」(18・19日) ◆芭蕉元禄大垣楽市・楽座まるごとバザール(18・19日) ◆立川敬二さん旭日重光章受章祝賀会(20日) ◆芭蕉元禄大垣イルミネーション(25日～)

**12月** ◆第4回市議会定例会(4日～) ◆大垣城年末大掃除(5日) ◆大垣ミナモトボールクラブにスイトピア章を贈呈(8日) ◆おおがきマラソン2017(10日)